

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

R7 年 6 月 30 日

福島県知事 殿



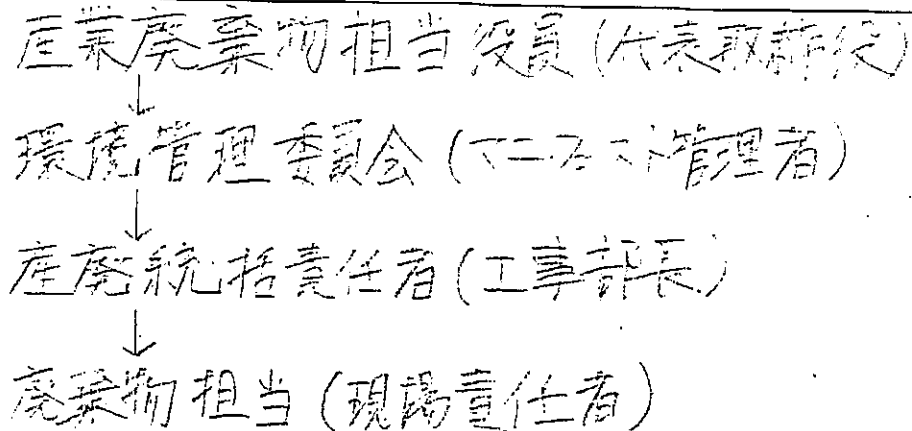
提出者 福島県会津若松市湊町大字共和字上馬渡357番地
 住所 福陽興業有限公司
 氏名 代表取締役 齋藤俊博
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 TEL (0242) 37-0710

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	福陽興業有限公司		
事業場の所在地	福島県会津若松市神指町大字黒川字湯川東340		
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	中分類	職別工事業	
	小分類	その他の職別工事業	
②事業の規模	完成工事高 8,000万円 (令和5年10月～令和6年9月末)		
③従業員数	3名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体現場	中間処理委託	破砕 破砕 破砕 破砕 破砕 粉砕 破砕 埋立 埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排 出 量	344.44 t	1,263.625 t
	(これまでに実施した取組) 。中間処理場に全て搬入転為、 分別をする。		
②計画	【目標】 R 7 年度		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	排 出 量	344.0 t	1,263.0 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度通り、実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別して中間処理へ委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通り中間処理場へ委託

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) な し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) な し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) な し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) な し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	344.44 t	1,263.625 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	344.44 t	1,261.465 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 木くず → 木炭チップ がれき類 → 再生骨材 全て再生もある。中間処理に委託している。		

②計画	【目標】 R7 年度		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	344.0 t	1,263.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	344.0 t	1,263.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状通り 中間処理場へ委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物担当役員(代表取締役)

↓
環境管理委員会(マニフェスト管理者)↓
産廃統括責任者(工事部長)↓
廃棄物担当(現場責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アラ	繊維雑<物
	排 出 量	16.76 t	11.51 t
	(これまでに実施した取組)		
	。中間処理場に全て搬入転為、 分別をする。		
②計画	【目標】 R7 年度		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	排 出 量	16.0 t	11.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	前年度通り実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別して中間処理へ委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通り中間処理場へ委託

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	繊維くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	繊維くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	繊維くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

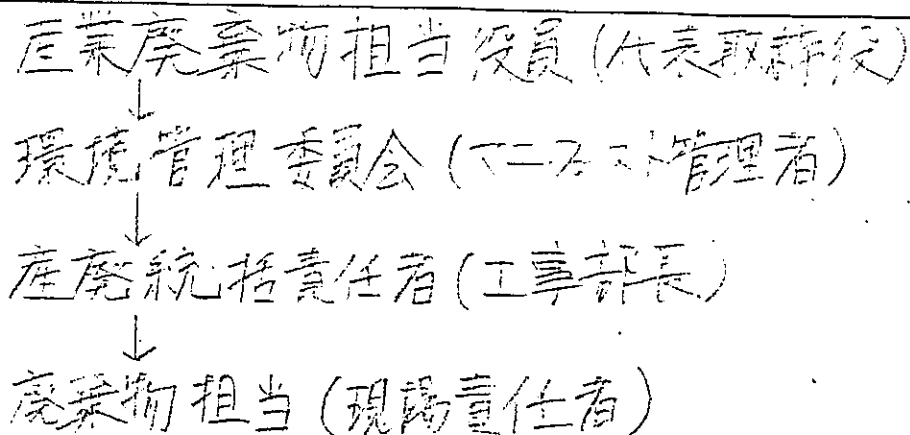
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	繊維くず
	全処理委託量	16.76 t	11.51 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	16.76 t	11.51 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	現状通り分別して、 全て中間処理場に委託		

②計画	【目標】 R.7 年度		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	繊維雑くず
	全処理委託量	16.0 t	11.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	16.0 t	11.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
現状通り中間処理場に委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(R6 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器・くず	管理型混合廃棄物
	排出量	51.34 t	2.7 t
	(これまでに実施した取組)		
	。中間処理場に全て搬入する為、分別をする。		
②計画	【目標】 R7 年度		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	排出量	51.0 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	前年度通り実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	分別して中間処理へ委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状通り中間処理場へ委託

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず 管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t 0 t
	(これまでに実施した取組)	
		なし
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	同上 同上
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t 0 t
	(今後実施する予定の取組)	
		なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず 管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t 0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t 0 t
	(これまでに実施した取組)	
		なし
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	同上 同上
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t 0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t 0 t
	(今後実施する予定の取組)	
		なし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
T J L			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	同上
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
T J L			

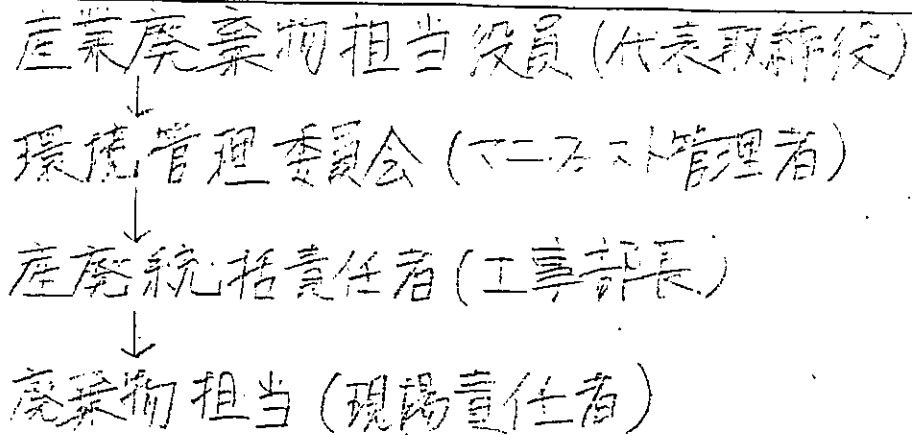
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	51.34 t	2.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	16.81 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
現状通り分別して、中間処理場へ委託			

②計画	【目標】 R7年度	
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	51.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	16.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状通り中間処理場に委託する。	
※事務処理欄		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R.6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
	排出量	7.97 t	t
	(これまでに実施した取組) 。中間処理場に全て搬入転為、 分別をする。		
②計画	【目標】 R7 年度		
	産業廃棄物の種類	同上	
	排出量	7.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度通り実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別して中間処理へ委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通り中間処理場へ委託

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) T J L		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同上	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) T J L		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
	全処理委託量	7.97 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t

(これまでに実施した取組)

現状通り分別して、中間処理場へ委託

②計画	【目標】 R7年度		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	7.0 t	t
	優先認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状通り中間処理場に委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。